

4. まとめと今後の検討課題

本WGでは、耐久性に関し『疲労』と『腐食』の問題を取り上げ、具体的には、疲労抵抗向上の研究、腐食に強い鋼構造物の研究、損傷検出評価技術の3テーマに関し検討した。

これらの研究テーマ遂行に当たっては、新しい分野に取り組み、数多くの新しい知見を得ることができた。今後は、実構造物の設計、製作およびメンテナンス分野への適用を目指して、さらに、データに蓄積を図るとともに、基準化等についても検討を進めていく必要がある。